

中止の「ぐんまマラソン」

ウェブで代替イベント

18日から
募集開始

6月に中止が発表された第30回ぐんまマラソンの代替イベントとして、県は15日、「ぐんまウェブマラソン2020」（11月3〜16日・県、上毛新聞社主催）の開催を発表した。スマートフォンを用いて期間中に規定の累計距離を走る方式で、18日に募集を始める。チャレンジ100（100キロ、定員500人）、チャレンジフル（42・195キロ、定員2千人）、チャレンジ10（10キロ、定員500人）の3種目を行う。

と、コロナ禍でぐんまマラソンを含む大会中止が全国で相次ぎ、市民ランナーのやる気の維持などを目的に開催を決めた。

大会ホームページ（<https://www.g-marathon.com/>）が、

期間中スマホで累計距離を走る

計測はスマートフォンアプリ「TATA」をダウンロードし、起動した状態で任意の距離を走る。参加者の都合に合わせて1日の距離や時間を調整でき、無理なく完走できる仕組み。本格派のランナーに向け、

通常のぐんまマラソンにない100キロを用意した。参加賞としてオリジナルTシャツを提供するほか、完走者から抽選で約200人に県内の温泉宿泊券や名産品を贈る。

県スポーツ振興課による

トリートメント「ランネット」（<https://runnet.jp>）から申し込む。参加費2千円（別途手数料200円）。期間は18日から10月13日まで。参加費のうち100円はコロナ対策の社会支援の募金に充てる。



ぐんまウェブマラソン2020で使用するスマートフォンアプリ「TATA」。大会に登録し、アプリを起動して走ると走行距離を計測できる